

モニタリングシート（データサイエンス学科）

No.	モニタリング項目	データ	データから見る点検結果（概要）	課題	改善へのアクション
1	経年でみた志願者動向はどのような状況か。	・各種入試結果 (入試区分別・高校ランク等)	入試広報課からの報告および学科内で志願者状況の把握に努めた。引き続き学科内で志願者動向の共有を図ると共に、入試広報課とも協力して大学案内の作成、学部・学科 HP の充実化、および高校訪問を継続して行う。	今後も継続して、他大学でも DS 学部の新設が想定される。本学 DS 学部の強みや特徴を適切に広報する必要がある。	学科内で入試広報委員を中心に魅力向上のポイントを議論し、必要な事項については検討を進め、可能な限り実行する。学部・学科 HP にて提供するコンテンツも学科内で議論する。
2	経年でみた新入生のニーズはどのような状況か。	・新入生アンケート (第一志望・選択理由・本学への期待等)	DS 学科では、「将来の職業に役立つ知識・技術あるいは専門教育」および「幅広い知識・教養」に期待している学生が 40%程度いる。社会から求められる専門家を育成するカリキュラムの検討を継続する。	選択理由は「学びたい学問があるおよび就職に有利である」が 40%程度となっている。2027 年度の 1 期生の卒業に向けて、就職先となり得る連携団体（企業・自治体など）の開拓が必要である。	新入生アンケートの結果の共有を行い、新入生のニーズの十分な把握に努める。新入生の入学前学習として DS 学部教員によるコンテンツを作成計画である。
3	教員組織編成の方針に基づき、職位構成・年齢構成のバランス、非常勤比率およびカリキュラムに基づく教員組織となっているか。	・所属教員の状況 ・科目群別非常勤比率	DS 学部は 2026 年度が完成年度であり、現状の教員の構成に問題はなく、カリキュラムや学修成果にも問題はない。実際の授業を通じて現行カリキュラムの課題を抽出する。2025 年度に新カリキュラムの案を作成する。	数学・プログラミング・価値創造の各招待科目について、DS カフェにおいて、毎週専任教員が学生の個別指導を行っている。次年度以降は、教員エフォートの適正管理の視点からも LS の活用など DS カフェでのサポート体制の充実化が必要である。	現行カリキュラムの課題を分析し、新カリキュラム作成に活用する。学科内で 2024 年度の DS カフェでのサポート体制の充実化に関する検討を行い、実行できるものは次年度から実行する。学部学科としての教員採用方針を明確にする。
4	【1 回目（6 月）】 上記項目以外で、「継続すること」「課題」「次へのアクション」「全学レベルで検討すべき事項（提案）」があれば、モニタリングシートへ入力。	・各種データ	特になし		